

仕様表			V-450NSc	V-460Pc	
望遠鏡	倍率		30×		
	対物有効径		45mm(EDM45mm)		
	分解力		3"		
	視界		1° 30'(2.6%)		
	最短視準距離		1.0m		
	レーザー安全規格		プリズム・反射シート:クラス2 ノンプリズム:クラス3R		
測距部	測定範囲 ()気象条件良好時※3	ノンプリズム ※1	0.5m~300m		
		反射シート ※2	-		
		1素子プリズム	1.5m~600m(800m)		
		3素子プリズム	1.5m~5500m(7000m)		
		ミニプリズム	1.5m~7000m(9000m)		
	測距精度 ※1 ※2	ノンプリズム	クイック測距時 ※4	1.5m~1800m(2300m)	
			0.5~10m	±(5+2ppm×D)mm	
			10~200m	±(3+2ppm×D)mm	
	反射シート・プリズム	200m~	±(7+10ppm×D)mm		
		1.5m~10m	±(3+2ppm×D)mm		
最小表示	10m~	±(2+2ppm×D)mm			
測距時間 ※1 ※5	初回測距	通常測距	1mm又は0.1mm/高速測距 10mm		
		10mm表示:約1.0秒 1mm表示約1.7秒 (200m以内の場合)			
	連続測距	プリズム・反射シート	10mm表示:約0.8秒 1mm表示約1.5秒 (クイック測距時0.8秒)		
		10mm表示:約0.4秒 1mm表示約1.5秒			
気象補正	プリズム・反射シート	10mm表示:約0.3秒 1mm表示約1.0秒 (クイック測距時0.6秒)			
レッドマーク機能(目標ポインティング)		気温・気圧入力、ppm直入力、無し 選択可			
測角部	測角方式		アブリュート・ロータリーエンコーダ		
	検出方式		H:両側検出 V:両側検出		
	最小表示		5"/10"選択		
	測角精度(標準偏差) JIS B 7912-3(ISO 17123-3)準拠		5"	6"	
表示部	表示器		正反両側、照明付		
自動傾斜補正装置	形式		静電容量型		
	補正軸		1軸		
	補正範囲		補正範囲:±3'		
応用機能	測定・計算		杭打ち測定、水準測定、対辺測定、逆打ち測定、遠隔測高(REM)測定、2点後方交会法、幅杭測定、単回観測、簡易座標測定、路線計算、s/S補正計算、トラバース測定(測定のみ/座標記録/簡易野帳記録)、ツールポケット設定(メニュー定義)		
データ記録装置	形式		本体内部メモリ/SDカード		
	記録容量(座標もしくは観測データ) ※6		約20000点	約16000点	
インターフェース			SDカードスロット、ミニUSBポート、RS-232C、(Bluetooth クラス1:オプション)		
気泡管感度	主気泡管(棒気泡管)		30"/2mm		
	円形気泡管		8"/2mm		
求心望遠鏡	倍率		3×		
	合焦範囲		0.5m~		
基盤部形式			シフト式		
防塵・防水			IP56		
使用温度範囲			-20°C~+50°C		
寸法/質量			180(幅)×342(高さ)×177(長さ)mm /5.5kg		
内部バッテリー(BP02)	電源		Ni-MH蓄電池(充電式)		
	1充電あたり使用時間	連続測距	約5時間		
		測角	約15時間		
充電時間		約130分			
充電器(BC03)			種類:充電機能付きフル充電方式 入力電圧/周波数:AC90~240V 50/60Hz 出力電圧/DC7.5V 1.6A		
国土地理院認定			2級A トータルステーション	3級 トータルステーション	

※1: ノンプリズムモードでの測距範囲・精度・時間は環境状況の変化や目標物の形状・面積・反射率により変化することがあります。また、ノンプリズムモードでの測距範囲はKODAK社グレイカード(白)を基準としています。(KODAKはイーストマンコダック社の登録商標です)

※2: ペンタックス純正反射シートにおいて

※3: 気象条件通常または良好とは次のような状態を基準としています。通常:視程が約20kmでかげろうがわずかに出ていて、日差しが弱く風が適度にあるとき。良好:視程が40kmで雨上がりの曇った状態で、かげろうがなく、風が適度にあるとき。

※4: クイック測距はプリズム及び反射シートにのみ有効に機能します。プリズムは1mm表示、距離500m未満、反射シートは距離300m未満が有効範囲です。

※5: 測距時間は日中の良好な測量環境で測定した値です。プリズム測距の場合には距離(3000m以上)あるいは環境状況によって、またノンプリズム測距の場合には距離(200m以上)あるいは環境状況の変化や目標物の形状・面積・反射率によって測距時間は長くなります。

※6: 記録点数は、使用状況によって変化します。座標、単回の数値はそれぞれを組み合わせることなく単独で使用した場合の観測点数です。1現場最大記録点数:3,000点 最大現場作成数:20現場 パソコンからトータルステーションへのデータ転送最大点数1,000点